

-----11月28日-----

今週のアウトルック(11/28～12/2)

先週はイタリア、フランスなどの国債金利の動向に大きく左右される一週間となりました。EUのソブリン債リスクが、EU各国に波及した形となり、深刻さは一層増えています。また、年末を控えたドル不足の流れから、ドル高が進みました。

今週も基本的にはユーロ安、ドル高の流れに大きな変化はないように思います。

ドル円は先週から円高から円安に傾向が変わっているようです。日銀介入をきっかけとした買い戻しの流れ、年末のドル不足のため、日本国債のリスクが注目され始めたためなど、原因はいくつか考えられますが、今週は78円から78.5円あたりを抜けて上昇できるかが、一つのポイントとなりそうです。ここを抜けられなかった場合、再び円高の流れに戻ることも考慮する必要があるように思います。

ドル円の予想レンジは77円から79円です。

ユーロは、EU各国の国債金利の動向に非常に敏感になっています。この流れは今週も続くと思われます。ECBの対応もドイツなどの反対に合い、なかなか進まず、買い戻しをこなしながら、少しずつユーロが売られる流れに変化はないように思います。

ただ、テクニカル的にはユーロドルの1.3を目前とし、ここで踏みとどまるか、抜けてしまうかが一つのポイントとなりそうです。

一方、ユーロ円はユーロ安、ドル高の中、緩やかな下落傾向になる可能性が高そうです。

ユーロ円の予想レンジは101円から104円です。

ポンド円は、120円台を完全に割ってしまう可能性が高くなっています。次のポイントは117円あたりとなりそうです。

ポンド円の予想レンジは117円から120円です。

今週も基本的にユーロ安、ドル高の流れに変わりはないと思いますが、何かをきっかけとした突発的な買い戻しの流れには注意が必要だと思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。